



ベネッセ
教育情報
フォーラム

大学入試セミナー（全国版） 共通テスト徹底解剖セミナー

株式会社ベネッセコーポレーション

※セミナー（ライブ／録画）では、投影のみの資料を用いて説明する場合があります。第2部以降は投影のみとなります。

はじめに ～共通テストに関する質問から～

- Q1 共通テストは、すべてマークシート式問題である？
- Q2 共通テストは、1教科60分（100点満点）で行われる？
- Q3 共通テストの平均点は、おおよそ50点ぐらいである？
- Q4 共通テストでは、高校で習わない発展的な問題が出題される？
- Q5 共通テストの結果は、出願前に大学入試センターから送られてくる？

共通テスト直後の受験生へのアンケートから

～時間が足りない、情報量が多い、思考力が問われる～

- 難しいと感じたものもあれば、簡単かなと思うものもあった。やはり**思考力が問われているだけあって、時間が足りなかった。**
- 英語のリーディングの形式が変わっていてとても焦りました。全体的に**見直す時間が全然取れず、時間いっぱいになってしまう**ような感じでした。
- 共通テストに変わって問題はだいぶ**難しいと感じた**。全体を通して言えるのは、**情報量が多い**ということ。意外に見落とした部分などがあった。**限られた時間内にいかに速く正確に読み取れるかで差が出た**と思います。
- センター試験と比較して、言われてきていたように**文章がどの科目も長くな**っていて、文章の速読も求められていると感じた。
- 地理や英語の問題文は**最後まで読まなければ把握できない**ものが多かった。また英語は文章が時系列通りに書かれていなかったり、**複数の文章を照らし合わせないとわからない**ものがそこそこあって面倒だった....。

共通テストとセンター試験の違い

	共通テスト	センター試験
試験時間 ・配点	<ul style="list-style-type: none"> 数学① 70分 100点 英語【リーディング】 80分 100点 英語【リスニング】 30分 100点 	<ul style="list-style-type: none"> 数学① 60分 100点 英語【筆記】80分 200点 英語【リスニング】 30分 50点
英語の 出題方法	<ul style="list-style-type: none"> すべて読解問題に 「発音」「アクセント」「語句整序」を単独で問う問題は出題されず イギリス英語も使用 	<ul style="list-style-type: none"> 【筆記】として「発音」「アクセント」「語句整序」の問題も出題
リスニングの 問題音声	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を第3問以降は1回に（59点分） 	<ul style="list-style-type: none"> 全設問2回読み
理科の 出題方法	<ul style="list-style-type: none"> 「物理」「化学」「生物」「地学」の選択問題を取りやめ 	<ul style="list-style-type: none"> 「物理」「化学」「生物」「地学」の一部に選択問題を配置

※出典：大学入試センター「令和3年度大学入学共通テスト」（2021年1月16・17日）より作成。英語・リスニングの試験時間は60分（解答時間は30分）。

共通テスト（出題教科・科目、試験時間、満点）

第1日

第2日

出題教科・科目		試験時間	満点
地理歴史 公民	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	2科目 9:30~11:40 1科目 10:40~11:40	各100点
国語	国語	13:00~14:20	200点
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	英語【リーディング】など 15:10~16:30	英語 100点
		英語【リスニング】 17:10~18:10	100点
理科①	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	9:30~10:30	各50点
数学①	数学Ⅰ 数学Ⅰ・A	11:20~12:30	100点
数学②	数学Ⅱ 数学Ⅱ・B 簿記・会計 情報関係基礎	13:50~14:50	100点
理科②	物理 化学 生物 地学	2科目 15:40~17:50 1科目 16:50~17:50	各100点

共通テスト 各教科・科目の平均点（得点調整後）

5

教科・科目	満点	平均点	前年差
国語	200	117.5	-1.8
世界史B	100	63.5	0.5
日本史B	100	64.3	-1.2
地理B	100	60.1	-6.3
現代社会	100	58.4	1.1
倫理	100	72.0	6.6
政治・経済	100	57.0	3.3
倫理、政治・経済	100	69.3	2.8
数学Ⅰ・A	100	57.7	5.8
数学Ⅱ・B	100	59.9	10.9

教科・科目	満点	平均点	前年差
物理基礎	50	37.6	4.3
化学基礎	50	24.7	-3.6
生物基礎	50	29.2	-2.9
地学基礎	50	33.5	6.5
物理	100	62.4	1.7
化学	100	57.6	2.8
生物	100	72.7	15.1
地学	100	46.7	7.1
英語・リーディング	100	58.8	0.7
英語・リスニング	100	56.2	-1.4

※出典：大学入試センター「令和3年度大学入学共通テスト（1月16日・17日）の得点調整について」（2021.01.22）より作成。<https://www.dnc.ac.jp/>

※上記の数値は、小数点第2位以下四捨五入。英語・リーディングとリスニングの前年差は、前年の配点をそれぞれ100点に換算して算出。



「社会とのかかわり」や「探究活動」を意識した問題設定

- ☑ 「日常事象、社会事象」を意識した素材を出題
- ☑ 会話、グループワークの場面が扱われるなど「探究」を意識した出題



複数の資料を読み取り、情報を統合・考察する力の重視

- ☑ 「文章」だけではなく、「グラフ」「図表」など**複数の資料**が扱われた
- ☑ 文章や資料なども含め、センター試験より分量（ページ数）が増加、思考力・読解力・情報を整理する力がより問われる出題に

各教科・科目 出題の特徴・求められる力

英語 リーディング

- 日常的なものから叙述文まで**様々な内容が題材**に
- 表・グラフなど**資料が多数**

- 読解量が大幅に増加し、**素早く多面的に情報を処理する**ことが求められた。

英語 リスニング

- **音声情報**と図表などの**視覚情報**を組み合わせる問題が増加

- 講義を聞いてワークシートにまとめたり、音声とグラフの内容から判断するなど、**情報処理能力**が求められた。

数学 Ⅰ・A

- **文章量や計算量**が増加
- 現実の事象や会話文を扱う問題が出題

- 公式の**本質的な理解**に加え、**情報を読み取り整理する力**や、考察した結果を利用する力が求められた。

数学 Ⅱ・B

- **会話形式やグラフを選択**する問題が出題
- **ページ数増**も、計算量は減少

- より**素早く正確に情報を整理**すること、見慣れない問題では**条件を読み替える**などして**知識と結びつける**ことが必要に。

各教科・科目 出題の特徴・求められる力

国語

- 複数の文章や資料を関連づけて応用的に考える設問がすべての大問に
- 語彙や文法など基本的な知識に加え、複数のテキストを結び付けて読み取る力や発展的思考力が求められた。

世界史B

- リード文や資料のヒントと知識を組み合わせる解答を導く方式が増加
- 地図やグラフだけでなく、小説や条約など、多様な史資料から必要な情報を読み解く力が求められた。

日本史B

- 史料、地図、写真など多様な資料が用いられ、史資料の読解力が重視
- 3つの地図を年代順に並べる問題など、資料の読み取りと知識とを組み合わせる力が求められた。

地理B

- 複数の資料から複合的に考察する問いが増加
- 多様な資料が用いられ、読解力と地理的思考力が問われた。具体的事象について「なぜ、そうなるのか」も含めて理解することが求められた。

各教科・科目 出題の特徴・求められる力

現代社会

- ・ 模式図など**様々な資料**が使われ、全体の**文章量は増加**

- ・ 様々な文章資料を読み取り考察する力が必要に。
- ・ 学習事項を**身近なテーマに当てはめて考える思考力**が求められた。

倫理

- ・ 現代の**倫理的諸課題**について考察する問題が多く、**資料も多用**

- ・ 会話やレポートなどを素材に、**現代の倫理的諸課題について深い考察**が求められた。

政治・
経済

- ・ 幅広い知識と思考力を活かして、**資料を読み解く問題**が多く出題

- ・ 基礎事項を**具体的なテーマに当てはめて考える思考力**が問われた。資料の数値を読み取ったり、計算して答えを導く力も必要に。

倫理、政
治・経済

- ・ すべての設問が**「倫理」および「政治・経済」と共通**

- ・ 倫理では、会話やレポートなどを素材に、**現代の倫理的諸課題について深い考察**が、政治・経済では基礎事項を**具体的なテーマに当てはめて考える思考力**が問われた。

各教科・科目 出題の特徴・求められる力

10

物理基礎

- 2種類の実験を行い、その違いを考察するなど、**探究活動を意識した出題**
- 商品ラベルから必要な情報を読み取り、日常の場面で見られる事象について、**知識を活用して解く力**が求められた。

化学基礎

- 問題文を読み解き、**知識と結び付けて解く問題**が多く出題
- 化学基礎では扱わない「陽イオン交換樹脂」について、問題文で情報を読み取り、**実験操作や結果を考察する力**が求められた。

生物基礎

- 知識のみを問う問題の割合が減り、**知識をもとに資料を解釈する設問**が多く出題
- 設問文の量が大幅に増加**。知識を踏まえたグラフの読解と思考力が求められた。

地学基礎

- 仮説検証の方法**を問う問題が複数出題
- 実験・観察**を題材にした問題が多数出題。
- 仮説検証の方法自体を問うなど、**探究的な出題**が見られた。

各教科・科目 出題の特徴・求められる力

11

物理

- 身近な素材をテーマにした問題が多く、**グラフなどをもとに考察させる問題**が出題
- 身近なテーマを題材に、日常現象と物理法則の関連を考える問題が多く出題。目新しい素材の出題もあり、**与えられた情報をしっかり読み取る力**が求められた。

化学

- 初見の反応や実験について、**読解・思考する問題**が多数出題
- 大問数が7→5問へ減少。配点は全大問20点に。**見慣れない実験の中での考察問題**や、**方眼紙を用いて解く問題**なども見られた。

生物

- 大問ごとに分野をわけた出題ではなく、多くの大問で**分野融合問題**が出された
- 複数資料の解釈を行い、**科学的思考力**を問う問題が多く出題。
- 題意を的確に把握する力**が問われた。

地学

- 総合的な問題**のほか、図の読み取りや計算を要する問題が多く出題
- 幅広い分野の問題**が出題。エクマン輸送量に関するグラフなどの目新しい図のほか、高層天気図や星団のHR図など多くの図が用いられた。

共通テスト 出題内容から (国語・数学)

国語 第1問 問5 (iii) より

本文の[17]には、近代において「私が私にとって不気味なものとなった」ということが書かれていた。このことに関係して、本書第四章には、欧米でも日本でも近代になってドッベルゲンガー^{ドッベルゲンガー}や自己分裂を主題とした小説が数多く発表されたことあり、芥川龍之介の小説「幽霊」(一九一七年発表)の次の一節が例として引用されていた。

第二の僕——^{（オレ）}「独立人の所謂^{（オレ）}他人の心は、仕合せにも僕自身に見えぬことはなかった。しかし、^{（オレ）}米利加の映画俳優になったK君の夫人は第二の僕を帝劇の座下に見かけていた。僕は突然K君の夫人に「先達^{（オレ）}はつい御挨拶もしませんが」と言われ、当惑したことを覚えている」それからもう故人になったある變態^{（オレ）}の脚記者もやはり銀座のある煙草屋に第二の僕を見かけていた。死はあるいは僕からも第二の僕に受けるかも知れなかった。

考察 ドッベルゲンガー^{（オレ）} Doppelgängerとは、ドイツ語で「二重に行く者」、すなわち分身の意味であり、もう一人の自分を見てしまう「複製^{（オレ）}」のことである。また、「ドッベルゲンガーを見た者は死ぬ」と言い伝えられていると説明されていた。

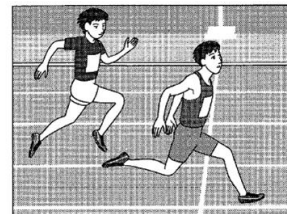
[17] に書かれていた「第二」という近代に特有の思想とは、こうした自己分裂を踏まえた指摘だったことがわかった。

フート3

脚 フート3を作成し、Nさんは、近代の妖怪観の背景に興味をもった。そこで出典の江戸の妖怪革命を読み、フート3を作成した。空欄[Ⅴ]に入る最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は[12]。

数学Ⅰ・A 第2問〔1〕より

- (1) 陸上競技の短距離100 m走では、100 mを走るのにかかる時間(以下、タイムと呼ぶ)は、1歩あたりの進む距離(以下、ストライドと呼ぶ)と1秒あたりの歩数(以下、ピッチと呼ぶ)に関係がある。ストライドとピッチはそれぞれ以下の式で与えられる。



(中略)

$y = \text{ア}$ とおく。②を $y = \text{ア}$ に代入することにより、 y を x の関数として表すことができる。太郎さんのタイムが最もよくなるストライドとピッチを求めるためには、 カ ・ キク $\leq x \leq 2.40$ の範囲で y の値を最大にする x の値を見つければよい。このとき、 y の値が最大になるのは $x = \text{ケ}$ ・ コサ のときである。

よって、太郎さんのタイムが最もよくなるのは、ストライドが ケ ・ コサ のときであり、このとき、ピッチは シ ・ セセ である。また、このときの太郎さんのタイムは、①により ソ である。

異なる種類の題材を結びつけて
発展的に考える力が求められた

どの用語がどの数式や文字で定義されて
いるかを素早く整理する力が必要

共通テスト 出題内容から (英語・リーディング)

13

英語・リーディング 第3問A より

A You are planning to stay at a hotel in the UK. You found useful information in the Q&A section of a travel advice website.

(前略)

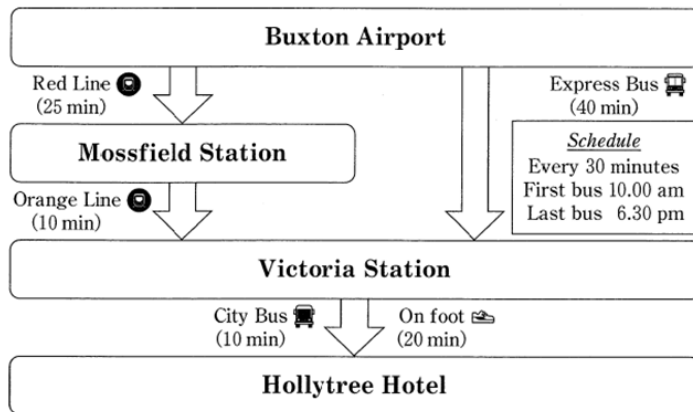
Mossfield. Transferring to the Orange Line for Victoria should normally take about seven minutes, but the directions weren't clear and I needed an extra five minutes. From Victoria, it was a ten-minute bus ride to the hotel.

The second time, I took the express bus to Victoria, so I didn't have to worry about transferring. At Victoria, I found a notice saying there would be roadworks until summer 2021. Now it takes three times as long as usual to get

(中略)

問 2 You are departing on public transport from the airport at 2.00 pm on 15 March 2021. What is the fastest way to get to the hotel? 17

Access to the Hollytree Hotel



- ① By express bus and city bus
- ② By express bus and on foot
- ③ By underground and city bus
- ④ By underground and on foot

英文の情報を数値に置き換えてから計算し、その結果を比較するなど、
複合的な情報処理能力が求められた

共通テスト 出題内容から（英語・リーディング、リスニング）

14

	センター試験 (2020年)	共通テスト (2021年)	増減
リーディング (本文の語数)	約2,800語	約4,200語	約1.50倍
リスニング (放送される英語)	約1,100語	約1,500語	約1.36倍

設問や図・グラフ・表などの情報から、本文で示されている内容や
着目すべき点について、あらかじめ把握しておくことがポイント

共通テストに向けた重要ポイント

15

ポイント

1

基礎・基本(例:教科書で扱う定理・公式)の
本質的理解が重要に。

ポイント

2

考え方(思考法)の“**型**”が重要に。
問題の捉え方・情報の整理の仕方を身につける。

ポイント

3

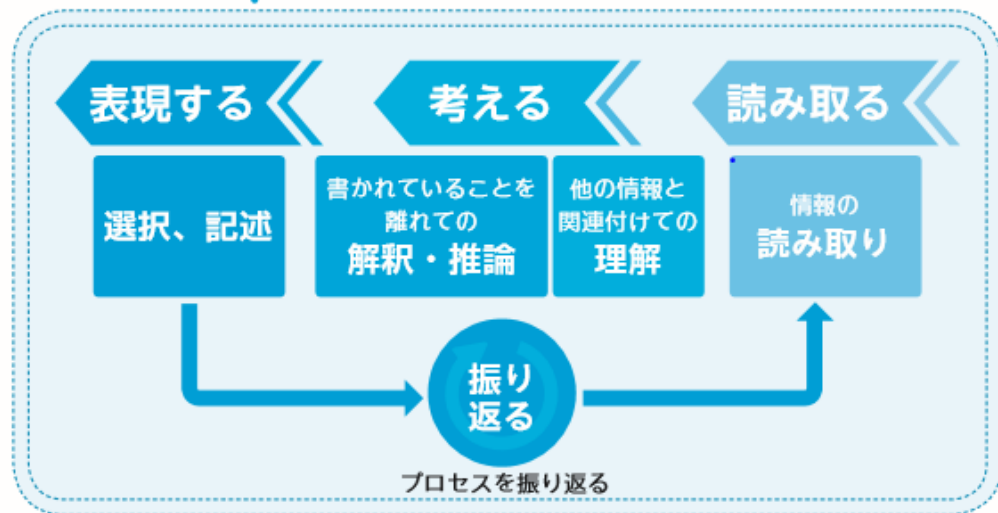
読解力が重要に。
時間内に問題の素材や設問を読み解く力を育成する。

共通テストに向けた重要ポイント

進研ゼミ高校講座 より

The diagram features a circular arrow icon with the characters '思考' (Thinking) inside, followed by the title 'プロセスメソッド' (Process Method) in a black box.

思考 プロセスメソッド



- 思考を深めるための「思考法」を意識する。
- 「情報の読み取り」→「関連づけ」→「解釈・推論」の流れで考える。

現高1・2生へのメッセージ（共通テストを受験した先輩から）

17

～基礎やその理解が大切、早めのスタート・学習習慣が重要～

- 共通テストも個別試験も、その教科の**基礎をしっかりとやること**が一番大切です！
- 共通テストに向けては**基礎をしっかりとおさえ**て、**理論を理解することを意識**しながら勉強してほしい。
- 演習も大切だが、**教科書を読み込んで内容をしっかりと理解**しないと、暗記だけではきつい。
- **早く勉強するにこしたことはない**と断言できます。私は高2の秋から本腰を入れ始めたのですが、それでも遅いと感じました。また、新傾向の問題でも、基礎基本をしっかりとおさえれば解けます。
- 絶対**今からやったほうがいい**です。私は一年前から勉強し始めましたが全然時間が足りませんでした。**先手必勝**です。がんばってください。
- 与えられたものだけをやるのではなく、**自分にとって必要なものは何か**を考えて残りの期間勉強してください。
- **確実な学習習慣**をつけておくことが、受験勉強をしていく上で一番重要だと思います。

共通テスト 各教科別対策法

英語

- **文法・語法・語彙**の定着
 - 読解はスピードを意識
 - 英語を**読む・聞く機会**を増やす
- 習った文法・語彙の入った英文を、**意味をイメージしながら音読**する（デジタル用語も）。
 - 毎日英文を読み、毎日英語を聞く（イギリス英語も）。

数学

- 定理・公式は**使い方や意味を理解**する
 - 問題文は「**条件の読み取り**」を意識
- **なぜ？**を意識しながら解き方を確認する。
 - 教科書の定理・公式の**導き方も理解**しておく。
 - 問題文から必要な「**要素**」を**モレなく読み取る**練習を繰り返す。

国語

- 着眼点をつかみ、**要旨・論点をおさえる**演習
 - 古文漢文では**文法や句法、語句**の定着を徹底
- 共通テスト、学校のテスト、模試、問題集などに、**要旨や論点**を意識しながら取り組み、**解答解説**で自分の読み取りが合っているか確認する。
 - 授業の予習や小テストなどを活用した復習をする。

共通テスト 各教科別対策法

地歴公民

- できごとが起きた**理由や背景の理解**を意識する
- 資料の数値変化や差異に着目して**知識をもとに考察**

- 暗記だけではなく、**理由や背景と一緒に覚える**。
- 時代・地域ごとの**特徴や変化の理由**から理解する。
- **史資料に触れる**機会を増やし、特徴を関連づけて考えることを意識する。

理科

- **知識と実現象**をつなげて考える
- **日常の事象や資料**と合わせて知識を理解する

- 法則や定理・公式の**意味を理解**する。
- 実験や物理現象の**背景**を意識する。
- 身近な現象を化学で**説明できる**ようにする。

共通テスト対策 ～英語・リスニング 議論や講義を想定した問題～

『大学受験チャレンジ』（11月号） P.英語-54（第6問A/B）

令和3年度大学入学共通テスト 【英語・リスニング】 第5問

英語
リスニング
8

【共通テスト対策】リスニング
【議論】意見・立場を聞き取る方法②

共通テスト
対策

学習時間
30分

把握

状況
Professor Miller が幸福 (happiness) について講演した後、学生たち (David, Emma, Ken) とディスカッションしています。

問 1 四人のうち、幸福な状態に戻ることは難しいと述べているのは、次の選択肢 (①～④) のうちからすべて選びなさい。

① David
② Emma
③ Ken
④ Professor Miller

テーマは「幸福論」

状況
二人の学生が、幸福 (happiness) について話しています。

問 1 What is Tom's main point?

① It's important to consider if you are happy now.
② Money is not necessary at all to become happy.
③ People have different viewpoints on happiness.

第5問は問27から問33の7問です。

最初に講義を聞き、問27から問32に答えなさい。次に続きを聞き、問33に答えなさい。状況・ワークシート、問い及び図表を読む時間が与えられた後、音声の流れます。

状況

あなたはアメリカの大学で、幸福観についての講義を、ワークシートにメモを取りながら聞いています。

ワークシート

○ World Happiness Report

・ Purpose: To promote happiness and well-being

・ Scandinavian countries: Consistently happiest in the world (since 2012)

Why? ⇒ "Hygge" lifestyle in Denmark

↓ spread around the world in 2016

○ Interpretations of Hygge

	Popular Image of Hygge	Real Hygge in Denmark
What	<input type="text" value="28"/>	<input type="text" value="29"/>
Where	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="31"/>
How	special	ordinary

※出典：大学入試センター「令和3年度大学入学共通テスト」（2021年1月16・17日）より作成

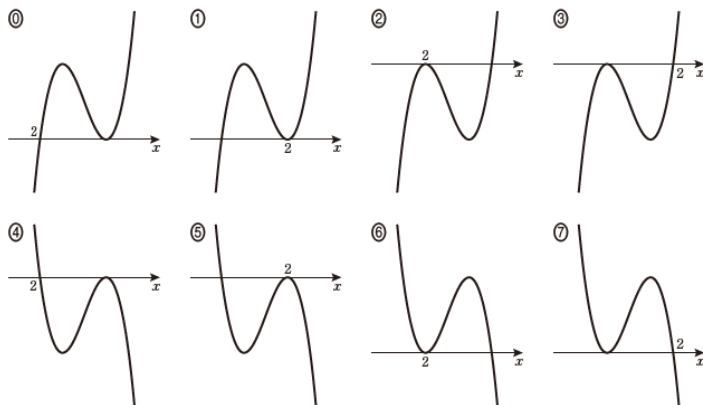
※出典：進研ゼミ大学受験講座『大学受験チャレンジ』（11月号）より作成

『共通テスト予想問題』（8月号）
数学Ⅱ・B 第2問（3）

(3) $b=c$ とする。3次方程式 $f(x)=0$ が2つの解 $x=2$, $\alpha(\alpha \neq 2)$ をもち、そのうち $x=2$ が2重解であるとき、 $a=\frac{\text{キク}}{\text{ケ}}$, $b=c=\text{コ}$, $\alpha=\frac{\text{サシ}}{\text{ス}}$ である。

このとき、 $y=f(x)$ のグラフの概形は **セ** のようになる。

セ に当てはまるものを、次の①～⑦のうちから一つ選べ。



令和3年度大学入学共通テスト
【数学Ⅱ・B】 第2問（2）

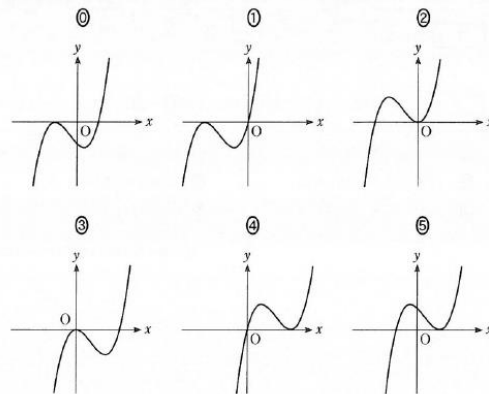
$h(x)=f(x)-g(x)$ とおく。 a, b, c, d が正の実数であるとき、 $y=h(x)$ のグラフの概形は **ナ** である。

$y=f(x)$ のグラフと $y=g(x)$ のグラフの共有点の x 座標は $\frac{\text{ニヌ}}{\text{ネ}}$

と **ノ** である。また、 x が $\frac{\text{ニヌ}}{\text{ネ}}$ と **ノ** の間を動くとき、

$|f(x)-g(x)|$ の値が最大となるのは、 $x=\frac{\text{ハヒフ}}{\text{ヘホ}}$ のときである。

ナ については、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。



共通テスト対策 ～地理 地図をもとに考察する問題～

『共通テスト予想問題』（8月号）
地理-21

問4 人口重心とは、人口1人ひとりが同じ重さをもつと仮定して、その地域内の人口が、全体として平衡を保つことのできる点をいう。次の図5は、アメリカ合衆国の人口重心を示したものである。アメリカ合衆国の人口重心は、1900年には図5中のO地点にあった。しかし2000年には、図5中の①～④のいずれかの地点に移動している。人口重心の移動先として最も適当なものを、図5中の①～④のうちから一つ選べ。 23



世界銀行「World Development Report 2009」により作成。

図 5

令和3年度大学入学共通テスト
【地理B】 第4問A 問1

第4問 アメリカ合衆国に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

A 次の図1を見て、アメリカ合衆国に関する下の問い(問1～4)に答えよ。



U.S. Census Bureau の資料などにより作成。

図 1

問1(1) 図1中のア～エの地点と矢印のうち、1950年の人口分布の重心と2010年の重心への移動方向を示したものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

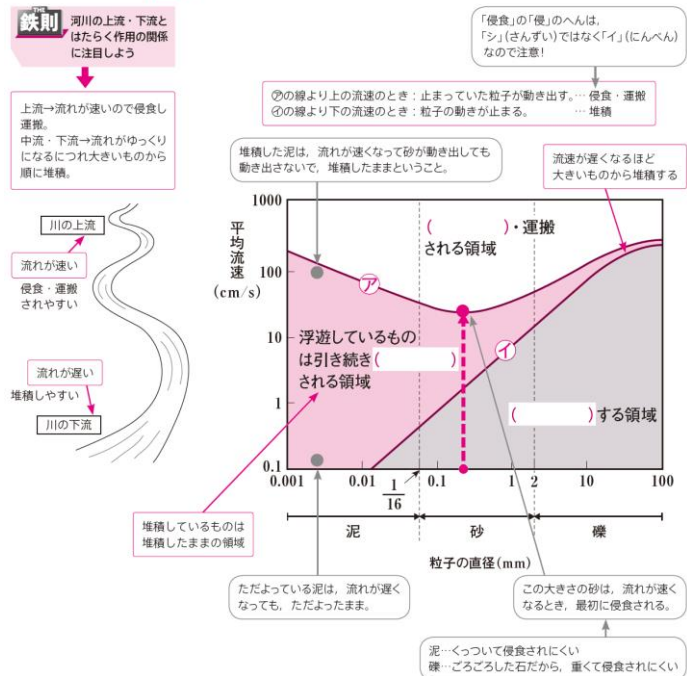
- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

※出典：大学入試センター「令和3年度大学入学共通テスト」（2021年1月16・17日）より作成

※出典：進研ゼミ大学受験講座『共通テスト予想問題』（8月号）より作成

『大学受験チャレンジ』（6月号）
地学基礎-2（step1例題）

流水のはたらき → 3か所の()中に、侵食・運搬・堆積のうちどれかを記入しよう。



令和3年度大学入学共通テスト
【地学基礎】 第1問B 問3

B 碎屑物の挙動に関する次の図1を参照し、下の問い(問3・問4)に答えよ。

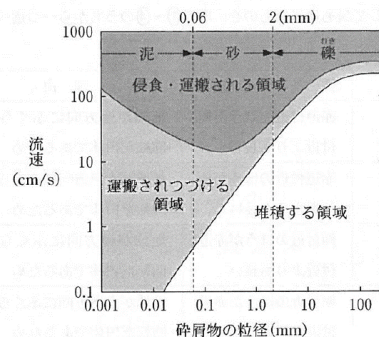


図1 侵食・運搬・堆積作用と碎屑物の粒径および流速との関係

問3 さまざまな流速下における碎屑物の挙動について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 流速 10 cm/s の流水下では、静止状態にある粒径 0.01 mm の泥は動き出し、運搬される。
- ② 流速 10 cm/s の流水下では、粒径 10 mm の礫は堆積する。
- ③ 流速 100 cm/s の流水下では、粒径 0.1 mm の砂は堆積する。
- ④ 流速 100 cm/s の流水下では、静止状態にある粒径 100 mm の礫は動き出し、運搬される。

共通テスト 自己採点も重要に！

国公立大学に出願する場合、共通テスト受験直後に大学入試センターから成績が送られてくることはないので、以下のことがポイントに！

- 自己採点した結果をもとにして、大学に出願する必要がある。
- そのため、**問題用紙に答えを正しく控えておくことが大切。**

共通テスト～出願までの流れ（2022年度 国公立大入試の場合）

1月15日・16日

共通テスト

1月17日

自己採点

1月24日～2月2日

出願

2月25日～個別試験
(前期日程)

ベネッセコーポレーションと駿台予備学校が共同で実施している
「データネット2021 自己採点集計」には約41万人が参加。

「データネット」サイトでできること

● 問題・問題講評

- ✓ 実際の問題に加え、出題の特徴・学習のポイントがわかる。

● 判定チェッカー

- ✓ 自己採点の点数、志望大を入力すると、志望大の判定がわかる。

● 合格可能性判定基準

- ✓ 志望大の目標得点率（B判定）がわかる。